



高分子固体材料の表面や界面ではさまざまな特性や機能が発現する。バルク特性を変化させることなく、必要な表面・界面特性や機能を材料に付与するため、古くから表面・界面の改質・制御技術が発展してきた。優れた表面・界面の改質・制御技術は、既存材料の有効活用、再利用・再資源化過程の効率化、高機能材料の開発など、近年私たちが抱えるさまざまな社会的要請に貢献することが期待される。本特集では、自己組織化を利用した表面・界面改質法の開発や、固体や微粒子などの表面の化学構造制御に基づく機能開拓、さらには高分子と接する環境改質など、高分子材料の表面・界面制御に関する最近の展開や新しい取り組みについて紹介いただく。

織田・黒岩・竹田・板東・藪

学会からのお知らせ

573 三大大事

第74回高分子学会年次大会

(会誌PDF版をご覧ください)

Program (主催行事予定)

新入会者紹介

定期刊行物内容予告

542 Digest for English Readers

545 Hot Topics

SPSJ PMF Poster Awards 2023

素描

546 君は界面になれるか
八尾 滋

展望

547 自己組織化による微細構造高分子表面と撥液表面への展開
敷 浩

550 リキッドマーブル工学：
高分子粒子の界面吸脱着現象が可能にする液滴制御技術
藤井秀司

553 生体貼付型デバイスに向けた電極材料の界面設計
堀井辰衛・藤枝俊宣

556 Polyman 画

トピックス

557 微粒子表面のポリマーブラシによる機能化
大野工司

559 液晶エラストマーで付着力を変える
大園拓哉

561 管内壁への超滑液コーティング
天神林瑞樹

563 PFASフリー透湿防水テキスタイル AMPHITEXの開発と展望
亀井 潤

グローイングポリマー

565 経験に学ぶ愚か者
信田尚毅

先輩からのメッセージ—^{しごと}仕事と^{しごと}私事—

566 満点でなくても良いので挑戦を。
岡本英子

高分子科学最近の進歩

567 セロオリゴ糖集合体のボトムアップ構築
芹澤 武・秦 裕樹

支部レポート

571 第70回高分子研究発表会(神戸)・70周年記念講演会から
南 秀人

* (S) (Supporting Information) マークのある記事は、会誌PDF版で閲覧いただけます。